

今日は、記録走大会。今年からグラウンドの中の 200mコースを周回する。この大会にさきがけて 4 月から体育の時間の最初には、「5 分間走」を行い、同じペースで長い距離を走るという取り組みを続けてきた▼スタートは 1 年生。4 月の 5 分間走では、ペースが分からず、全速力で走り始めてしまい、終盤は大半の子がお散歩にかわっていた。今日の 1 年生には、スタートダッシュするような子はもちろんいない。程よいペースで走り始める▼つめかけた保護者大応援団。瞬間最大人数は 100 人。たくさんの声援に、子どもたちががんばらずにはいられない。他学年のお友達の応援も負けてない▼特に、各学年最後にゴールした子への声援は友だちへの温かさを垣間見ることができた。最後の 6 年生、一番最後にゴールした男の子。前回の試走では、完走できなかったらしい。それを知っているのか、その子に向けられた声援は、彼に大きな元気を届けた。その彼、5 年生が走る時には、一生懸命声を出して応援していた▼今日走った子の 9 割の子が「当日新記録」ということも聞いた。1 割の子は試走から全力を出し切っていた。9 割の子は、残していた余力を出し切れたのだろう。走ったすべての子が「全力」「完走」による「達成感」を味わうことができた▼スムーズな進行は子どもたちの高い意識によるもの。整然と行動する子どもたちの姿も気持ちよかった。